



襲いかかるムシヒキアブの一種から逃げるフタスジチョウ（連写合成）  
2019年7月24日 長野県上高地 撮影/伊勢利希

# チョウの舞う 自然

THE JAPAN BUTTERFLY  
CONSERVATION SOCIETY  
NEWSLETTER NO.33

日本チョウ類保全協会 会誌33号  
October 2022

## CONTENTS

### 02 海野和男が語るチョウの魅力

ツツジに来るアゲハチョウ

### 特集：チョウを守るための10の活動

#### 04 総論

10 里地（草原、森林等）での生物多様性保全の仕組みづくり

12 気候変動問題の解決

14 自然環境の開発抑制と景観レベルでの環境復元

16 絶滅危惧種の保全

18 農林業の活性化および生物多様性との調和

20 シカの個体数の抑制

22 光害、窒素、外来種、農薬等その他の主要な要因への対応

23 生物多様性の状況把握（生息状況のモニタリング）

生物多様性に関する社会全体の意識向上

24 ナチュラリスト・自然を守る将来世代の育成

25 お知らせ

28 事務局の動き

26 イベントの報告

表紙：ヒサマツミドリシジミ



かつては幻の名を欲しいままにしたゼフィルス。山麓のウラジロガシやイチイガシで発生し、羽化後しばらくは発生地で過ごすが、その後は山頂付近に移動して活動する特異な生活史を持つ。今年は個体数が多かったようで、発生地から活動場所へと移動する直前の新鮮な雌に幸運にも対面することができ、カメラの前で翅を開くと深い青が広がった。

滋賀県 2022年6月26日

写真・文/板野 隆